ハーシ 1/

作成日: 2003/09/18 改訂日: 2024/03/27

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : エチレングリコールジメチルエーテル

会社情報

会社名 : 関東化学株式会社

住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課

電話番号 : (0120)260-489 FAX番号 : (03)3241-1047 メールアドレス : BC32@kanto. co. jp

整理番号 : 14121

 SDS 適用製品番号
 : 14121, 14122

 推奨用途
 : 試験研究用

使用上の制限 : 推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

 物理的危険性
 引火性液体
 区分 2

 健康有害性
 生殖毒性
 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)

絵表示







注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気

眠気又はめまいのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること/アースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

ミスト、蒸気の吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置 : 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる

こと。

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。



作成日: 2003/09/18 改訂日: 2024/03/27

保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄するこ

کی

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 物質

別名 : 1,2-ジメトキシエタン、ジメチルセロソルブ、DME、モノグライム

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法番号	安衛法番号	OID III
エチレングリコールジメチルエーテル	≥ 99	C4H1002	2-421, 7-1321	既存化学物質	110-71-4

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。

皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

眼に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。

飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡消火器

使ってはならない消火剤 : 普通の泡消火器

火災危険性 : 極めて引火性の高い液体及び蒸気。

消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周

囲に散水して冷却する。 消火作業は、風上から行う。

初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災 の際には、耐アルコール性の泡消火器などを用いて空気を遮断すること

が有効である。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置: 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸

気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。露出した場所の周辺にロ

ープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注

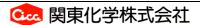
意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理され

ずに環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏洩した液はけいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩し

た場所は、水で十分に洗い流す。



作成日: 2003/09/18

改訂日: 2024/03/27

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備す

る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。火

気厳禁。

作業場所の換気を十分行う。

静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。

安全取扱注意事項 : 密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。取扱いは換気

のよい場所で行なう。

酸化剤と接触させない。

保管

安全な保管条件 : 吸湿性があるので、容器は密栓して冷暗所に保管する。

Cat. No. 14121-08、14121-23 は容器内を不活性ガス置換する。

安全な容器包装材料 : ガラス、ふっ素樹脂、ステンレス。

塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂は使用しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
産衛学会 許容濃度	設定されていない
ACGIH TWA	設定されていない

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装

置を使用する。

保護具

呼吸用保護具: 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する

手の保護具: 不浸透性保護手袋眼の保護具: ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

 物理状態
 : 液体

 色
 : 無色

臭い : わずかなエーテル臭

рН : 8.2 : -58 ° C 融点 : データなし 凝固点 : 82 - 83 $^{\circ}$ C 沸点 : -2 ° C (C.C.) 引火点 : 202 ° C 自然発火点 : データなし 分解温度 可燃性 : 引火性

蒸気圧 : 6.4 kPa (20℃)

相対密度 : 1.13

4/

作成日: 2003/09/18 改訂日: 2024/03/27

密度 : 0.864 - 0.869 g/cm³ (20℃)

相対ガス密度 : 3.1

溶解度 : 有機溶媒:エタノール、ジエチルエーテル、炭化水素に可溶。

水: $> 100000 \text{ mg/L} (22^{\circ}\text{C})$

n-オクタノール/水分配係数 (log : -0.21

Pow)

爆発限界 (vol %) : 1.6 - 10.4 vol % 動粘性率 : 1.27 mm²/s (20℃)

粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性は乏しいが、よう化水素、臭化水素、濃硫酸と反応する。

多くの金属化合物と配位化合物をつくる。

化学的安定性 : 爆発性過酸化物を生成することがある。吸湿性がある。通常条件で安定で

ある。

危険有害反応可能性 : 酸化剤と接触すると激しく反応することがある。。

避けるべき条件 : 日光、熱。水分。

混触危険物質 : 酸化剤。 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性(経口) : 区分に該当しない

マウス LD50=2525mg/kg

急性毒性(経皮) : 分類できない

急性毒性(吸入) : 区分に該当しない(気体)

分類できない (蒸気)

分類できない(粉じん、ミスト)

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 : 分類できない

性

呼吸器感作性: 分類できない皮膚感作性: 分類できない生殖細胞変異原性: 分類できない発がん性: 分類できない

生殖毒性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

マウスの器官形成期に経口投与した試験において、母動物に対して毒性が認められない用量において、仔に対する手足の奇形や脳脱出などが認められており、EU 分類・R60, R61 で生殖毒性カテゴリー2(区分 1B 相当)であ

ることから区分 1B とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 眠気又はめまいのおそれ

逃避反応における影響ではなく、回避反応の有意な減少が区分2のガイダンス値の上限を超えるばく露用量で認められることから区分3(麻酔作用)

とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない 誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない 水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない

作成日: 2003/09/18 改訂日: 2024/03/27

残留性・分解性

難分解性 BOD : 1%

生体蓄積性

低濃縮性 BCF : 0.4

土壌中の移動性

高移動性 Koc : 18

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。または、都道府県知

事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送(IMDG)

国連番号 (IMDG) : 2252

正式品名 (IMDG) : 1, 2-DIMETHOXYETHANE

容器等級(IMDG) : II 輸送危険物分類 (IMDG) : 3

航空輸送(IATA)

国連番号 (IATA) : 2252

正式品名 (IATA) : 1,2-Dimethoxyethane

容器等級(IATA) : II 輸送危険物分類(IATA) : 3 海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

: 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。 陸上規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

その他の情報 : 補足情報なし

緊急時応急措置指針番号 : 127

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令

第18条第1号~第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施

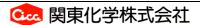
行令第18条の2第1号~第2号別表第9)

1, 2-ジメトキシエタン (政令番号: 299の2)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 第4類引火性液体、第一石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物

別表第1・第4類)



作成日: 2003/09/18 改訂日: 2024/03/27

船舶安全法 : 引火性液体類(危規則第2,3条危険物告示別表第1) 航空法 : 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

港則法 : その他の危険物・引火性液体類(法第21条第2項、規則第12

条、危険物の種類を定める告示別表)

道路法: 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保

有・債務返済機構公示第12号・別表第2)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR : 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

法) 1, 2-ジメトキシエタン (管理番号: 661) (100%)

16. その他の情報

参考文献 : NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)、独立行政法人製

品評価技術基盤機構。

危険物ハンドブック、ギュンター・ホンメル編 シュプリンガー・フ

ェアラーク東京(1991)。

有機化合物辞典、有機合成化学協会編、講談社(1985)。

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しております。